













報告書抄録

ふりがな	くそおきいせき							
書名	糞置遺跡							
副書名	北陸新幹線建設事業に伴う調査12							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第187集							
編著者名	松本泰典(編) 中川佳三 野路昌嗣 梶ヶ山真里 パリノ・サーヴェイ(株) (一社)文化財化学研究センター (株)吉田生物研究所 (株)イビソク (株)パレオ・ラボ							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒918-8226 福井県福井市大畑町97-21-3 TEL 0776-53-7977							
発行年月日	2024年3月8日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
くそおきいせき 糞置遺跡	ふくいけん 福井県 ふくいし 福井市 ふたがわちよこ 二上町	18201	01181	36° 0′ 20″	136° 13′ 25″	20161003 ～20161228 20170630 ～20180330	7.244	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
糞置遺跡	集落	縄文時代 弥生時代 ～古墳時代 奈良時代 ～平安時代 鎌倉時代 ～江戸時代	掘立柱建物9棟 平地建物1棟 堅穴建物1棟 方形周溝墓1基 護岸遺構1基 貯蔵穴4基 自然流路7条 堅穴建物1棟 溝1条 自然流路2条	縄文土器・土偶・ 石器・木製品 弥生土器・土師器・ 石器・木製品 須恵器・土師器・ 石製品・木製品 陶磁器・土師質皿・ 五輪塔・木簡	弥生時代の人骨の ほか、弥生～平安 時代の木製品(田 舟など)や墨書土 器が多量出土			
要約	糞置遺跡は福井平野南端に位置し、文殊山北麓の沖積地上に立地する集落遺跡である。今回の調査では、弥生・古墳時代の建物・方形周溝墓・護岸遺構、奈良・平安時代の溝、各時代の自然流路などを確認した。調査によって、弥生時代以降の集落は自然流路に接して形成されていることが明らかになった。また、弥生時代の護岸遺構は、自然流路を維持・管理する施設であり、奈良・平安時代の墨書土器は、糞置遺跡の範囲と重複する東大寺領糞置荘に関連する資料と考えられる。 出土遺物には、縄文時代から平安時代までの土器や石器・石製品、木製品が多く出土している。特に自然流路からは木製品が良好な状態で出土した。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第187集

莢 置 遺 跡

— 北陸新幹線建設事業に伴う調査12 —

令和6年2月27日 印刷

令和6年3月8日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒918-8226 福井県福井市大垣町97-21-3

印刷 白崎印刷株式会社

〒910-0843 福井県福井市西開発3-715
